

2月6日 出張講演会

防災食体験

会場：成瀬が丘ふれあい会館

参加者：30名



サバのみそ身仕立てリゾット



カレーリゾット

成瀬が丘自治会の自主防災隊のメンバーが参加

前半、町田災害ボランティアの会の長田氏、山崎氏
による“防災点検とまちあるき”を講演。

後半、NPO たまりば、峯岸と大脇が防災食の試食体験と食防災の講演を
しました。

調理室がないため、前半の講演中に、2種類調理しました。

カレーリゾット（コーン、大豆）とサバのみそ身仕立てリゾット（サバの味噌煮缶、
ワカメ）

今回は、一人さまの材料費は、一品10円で、出来ていることを説明。

峯岸の説明を聞きながら、美味しく食べていました。

試食終了、大脇が食に関する防災について紹介をしました。

伊勢湾台風での一夜明けて、茶色いおにぎりが出てきたことを紹介

食は、笑顔もたらし会話が弾み仲間を増やす力を持っていることも紹介。

期限切れになる備蓄食材を持ち寄って、試食会を広げていただくようお願いし、

我々も、お手伝いができることもお伝えしました。



1. NPO たまりば 紹介

防災関係を中心に紹介。

非常食試食体験、出向きます！

災害から命を守る 身近なものを使った

防災グッズ工作

2. 紙コップの紹介

B4の紙で作成したカップを紹介。

ビニール袋、サランラップを使用することで、漏れなく、熱さが手に伝わりにくいことを説明。
又、貴重な飲料水を使わないメリットも紹介。

1. 防災用ヘルメット

参加者は、全員、男性が大半を占めていたのでインナイヘルメットを紹介
市販の帽子の中に入れてかぶることで、自転車運転時のヘルメットや災害時のヘルメットになることを説明



2. 2月21日の 災害から命を守る工夫 講座のお誘い

日常出る資源ごみを使用し、ペットボトルでトイレ、牛乳パックと段ボールで家具固定を工作することを紹介。

又、ゲームでは、“危ないところ探そう”は、部屋の危険な場所の再発見と
“家具の向きを変える工夫”では、より命を守ることができることの発見
参加を呼び掛けました。

2016/2/7

大脇 秀雄